

## 沿 革

- 1970年3月 岡山県阿新圏域（当時の新見市・大佐町・神郷町・哲多町・哲西町で構成され、現在の新見市域に相当）振興計画に「短期大学の誘致」策定
- 1973年5月 新見市振興計画に「短期大学の誘致」策定
- 1976年5月 新見市議会全員協議会で市長が「短期大学設置」に関する所信表明
- 1977年4月 新見市立商業高等学校の県営移管跡地・校舎を短期大学設置に利用することを予定
- 1978年1月 新見市立女子短期大学創設準備室発足
- 1978年5月 新見市、阿哲郡4町（大佐町・神郷町・哲多町・哲西町）で短期大学の広域事業実施の協力要請
- 1978年9月 新見市、阿哲郡4町で短期大学関係議案を可決  
阿新広域事務組合同規約改正（短期大学事務を追加）
- 1978年10月 新見市立女子短期大学創設準備室を阿新広域事務組合立短期大学創設準備室と名称変更し新発足（この1978年10月2日（月）を記念して、後に開学記念日に制定）
- 1979年6月 新見女子短期大学設置認可申請を文部大臣に提出
- 1979年9月 現3号館完成
- 1980年1月 文部大臣から大学設置認可
- 1980年2月 文部大臣から「幼稚園教員養成課程」の認定
- 1980年3月 厚生大臣から「保母を養成する学校」として指定
- 1980年4月 文部大臣から「看護婦学校」として指定  
**阿新広域事務組合立新見女子短期大学開学**（看護学科3年制入学定員50人・幼児教育学科2年制入学定員50人）  
初代学長 岡本 正
- 1983年4月 二代学長 岩田清二
- 1984年4月 三代学長 那須 毅
- 1986年4月 看護学科入学定員を50人から60人に変更
- 1991年9月 学生会館完成
- 1992年4月 新見女子短期大学学科増設準備室設置
- 1993年4月 四代学長 小田琢三
- 1995年10月 現1・2号館完成
- 1995年12月 文部大臣から「地域福祉学科」設置認可
- 1996年3月 厚生大臣から「介護福祉士養成施設」として指定
- 1996年4月 **地域福祉学科開設**（2年制入学定員50人）
- 1997年4月 ドメイン名 [niimi-c.ac.jp](http://www.niimi-c.ac.jp) を取得し、大学の公式ウェブサイト（<http://www.niimi-c.ac.jp/>）を開設
- 1997年10月 入試事務を電算処理に移行

1998年4月	五代学長 新居志郎
1999年4月	<b>新見公立短期大学に大学名変更</b> 看護学科・幼児教育学科 男女共学化
2000年4月	地域福祉学科 男女共学化 学内情報ネットワーク設置・専用線によるインターネット接続開始
2002年4月	六代学長 難波正義
2002年4月	2002年度入学生から学籍・履修・成績管理を順次電算化 図書館の蔵書検索・貸出業務を電算化
2004年4月	文部科学大臣から「保健師学校」として指定 <b>地域看護学専攻科開設（1年制入学定員15人）</b>
2004年7月	文部科学大臣から幼児期教育学科の「地域と創るにいみこどもフェスタ」 が平成16年度「特色ある大学教育支援プログラム」に選定
2005年2月	地域看護学専攻科が独立行政法人大学評価・学位授与機構から学士の学位 を受けられる専攻科として認定
2005年3月	新見市、阿哲郡4町合併により新見市立新見公立短期大学に変更
2005年11月	新見公立短期大学学位規程制定（短期大学士）
2006年3月	大学評価・学位授与機構の機関別認証評価を受け、新見公立短期大学が「短 期大学の評価基準を満たしている」と評価
2006年7月	文部科学大臣から幼児教育学科と岡山大学など9校とが共同で「大学コン ソーシアムによる保育者の養成」が平成18年度「資質の高い教員養成推 進プログラム」に選定 文部科学大臣から看護学科の「地域のニーズに応える看護専門職養成」が 平成18年度「現代的教育ニーズ支援プログラム」に選定
2006年8月	文部科学大臣から幼児教育学科の「実践力が育つ保育者養成システム」が 平成18年度「特色ある大学教育支援プログラム」に選定
2007年1月	法人化推進室開設
2007年8月	文部科学大臣から看護学科の「電子カルテ情報システムによる看護基礎教 育」が平成19年度「現代的教育ニーズ支援プログラム」に選定 文部科学大臣から看護学科の「質の高い看護職養成のための看護研究」が 平成19年度「特色ある大学教育支援プログラム」に選定
2007年11月	新見市学術交流センター・新見公立短期大学附属図書館完成
2008年4月	新見市が公立大学法人新見公立短期大学設立（法人化） 四大化準備室開設
2009年3月	新見公立大学設置認可申請を文部科学大臣に提出
2009年7月	2010年4月の新見公立短期大学看護学科学生募集停止を文部科学大臣に 報告
2009年10月	法人名を公立大学法人新見公立大学に変更
2010年4月	<b>新見公立大学開学（看護学部看護学科：4年制入学定員60人）</b>

- 2012年3月 新見公立短期大学看護学科廃止
- 2012年4月 新見公立短期大学地域看護学専攻科学生募集停止
- 2013年3月 本館・体育館改築完成
- 2013年3月 大学基準協会の機関別認証評価を受け、新見公立短期大学が「本協会の短期大学基準に適合している。認定の期間は2020（平成32）年3月31日までとする。」と評価
- 2013年3月 新見公立短期大学地域看護学専攻科廃止
- 2014年4月 新見公立大学大学院開学（看護学研究科看護学専攻）
- 2015年4月 新見公立大学助産学専攻科開設
- 2016年4月 七代学長 公文裕巳
- 2017年4月 健康科学部看護学科に名称変更
- 2018年10月 文部科学大臣から「幼稚園教諭1種免許状の課程」、「特別支援学校教諭1種免許の課程」、「養護教諭1種免許状の課程」の認定
- 2019年3月 厚生労働大臣から「介護福祉士養成施設」、「社会福祉士養成施設」として指定  
厚生労働大臣から「保育士養成施設」として指定
- 2019年4月 健康科学部地域福祉学科、健康科学部健康保育学科開設  
健康科学部看護学科入学定員60人から80人に変更
- 2020年3月 新見公立短期大学地域福祉学科、幼児教育学科閉学
- 2020年10月 地域共生推進センター棟完成 竣工式
- 2022年4月 NiU新見駅西サテライト開設
- 2023年4月 大学院 健康科学研究科に名称変更  
看護学専攻(博士後期課程)・地域福祉学専攻(修士課程)を開設